

# 国、市の看取りの動向について

2018年10月20日

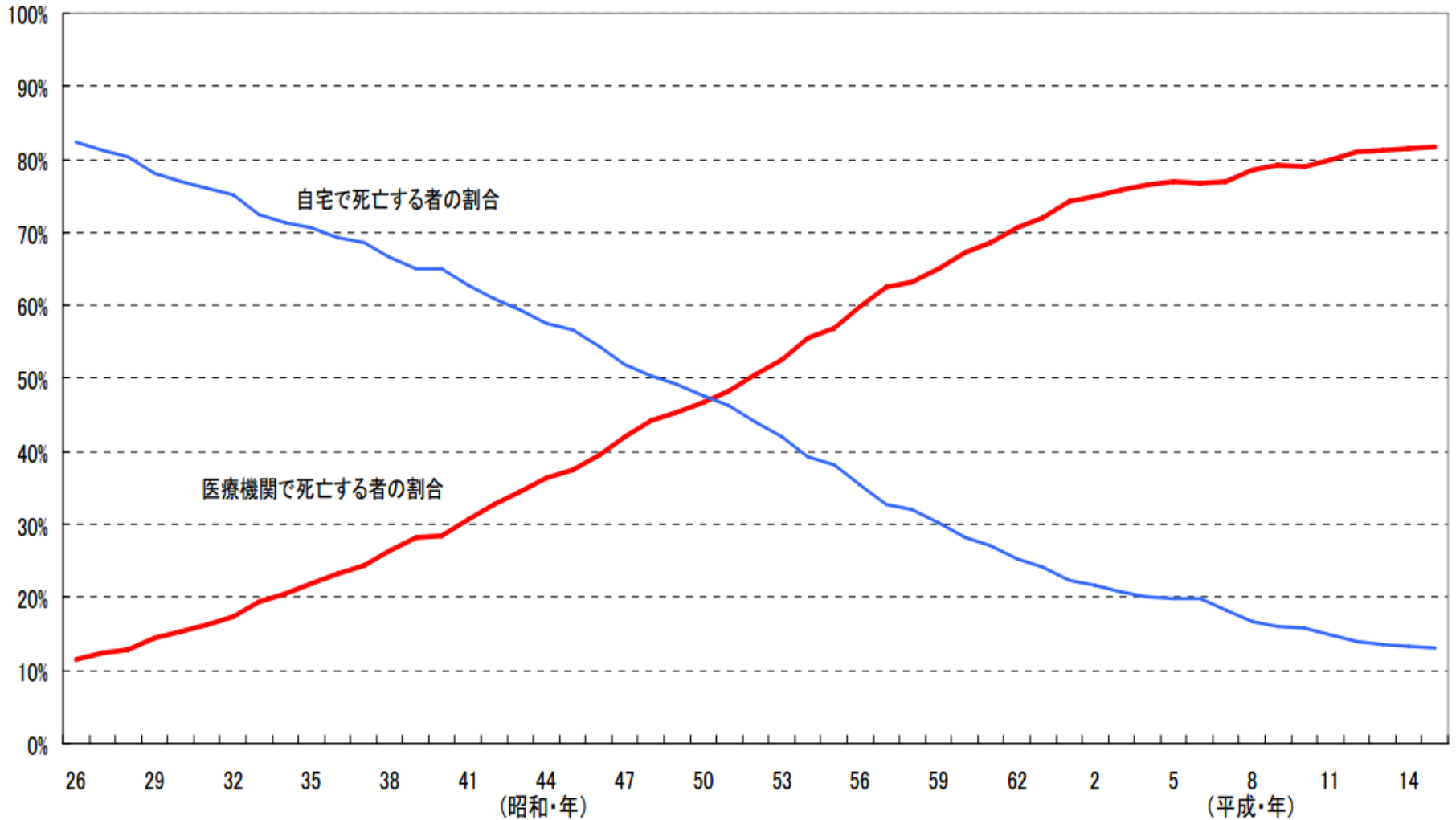
函館市医療・介護連携多職種研修会

函館稜北病院 総合診療科

川口 篤也

# 医療機関における死亡割合の年次推移

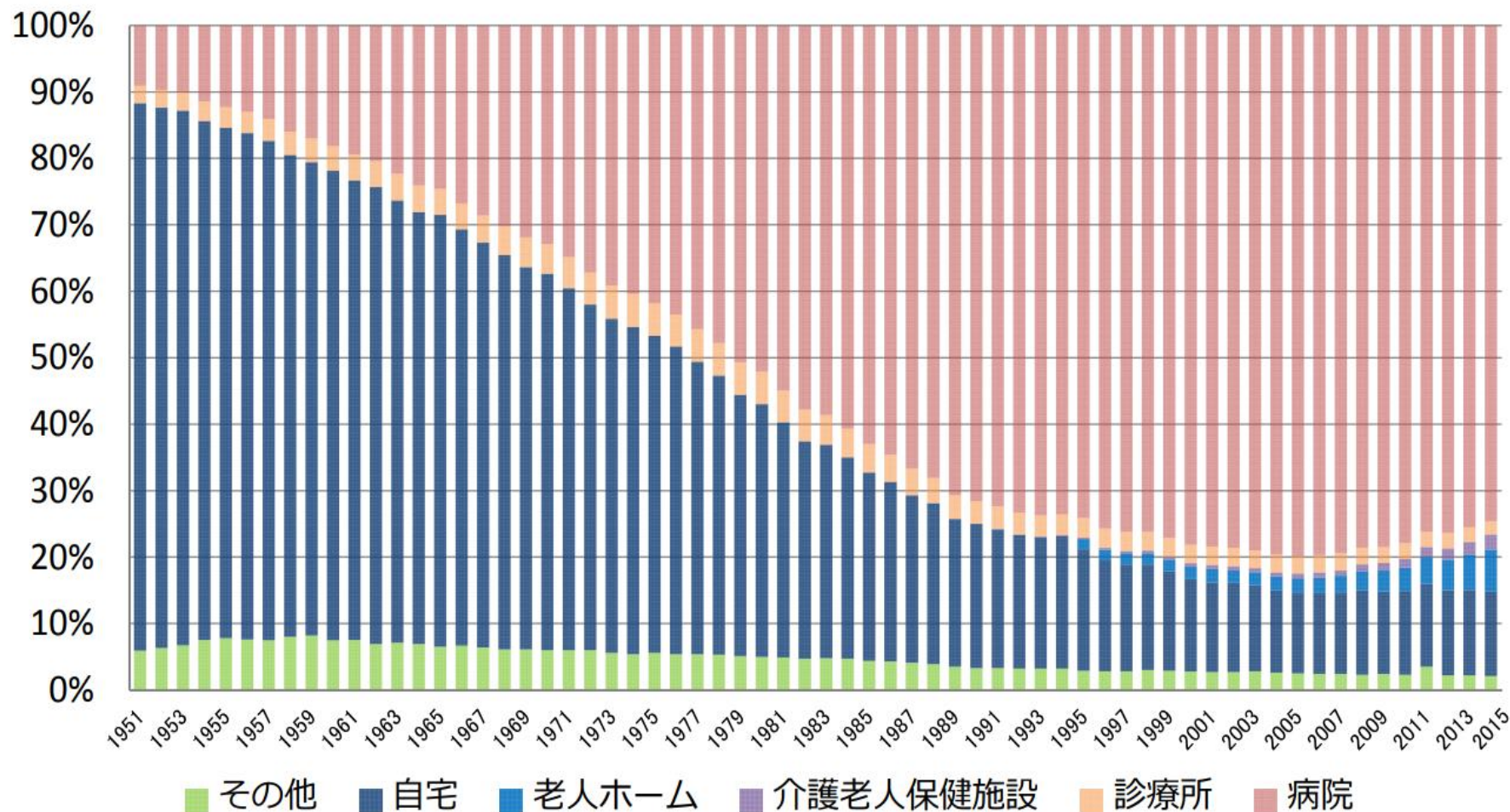
- 医療機関において死亡する者の割合は年々増加しており、昭和51年に自宅で死亡する者の割合を上回り、更に近年では8割を超える水準となっている。



# 看取りに関わる状況③ 死亡の場所（年次推移）

- これまで、自宅等における死亡が減少し、医療機関における死亡が増加する傾向にあった。
- 近年、医療機関以外の場所における死亡が微増する傾向にある。

## 死亡の場所別にみた年次別死亡数百分率



# 2016年 全国死亡場所

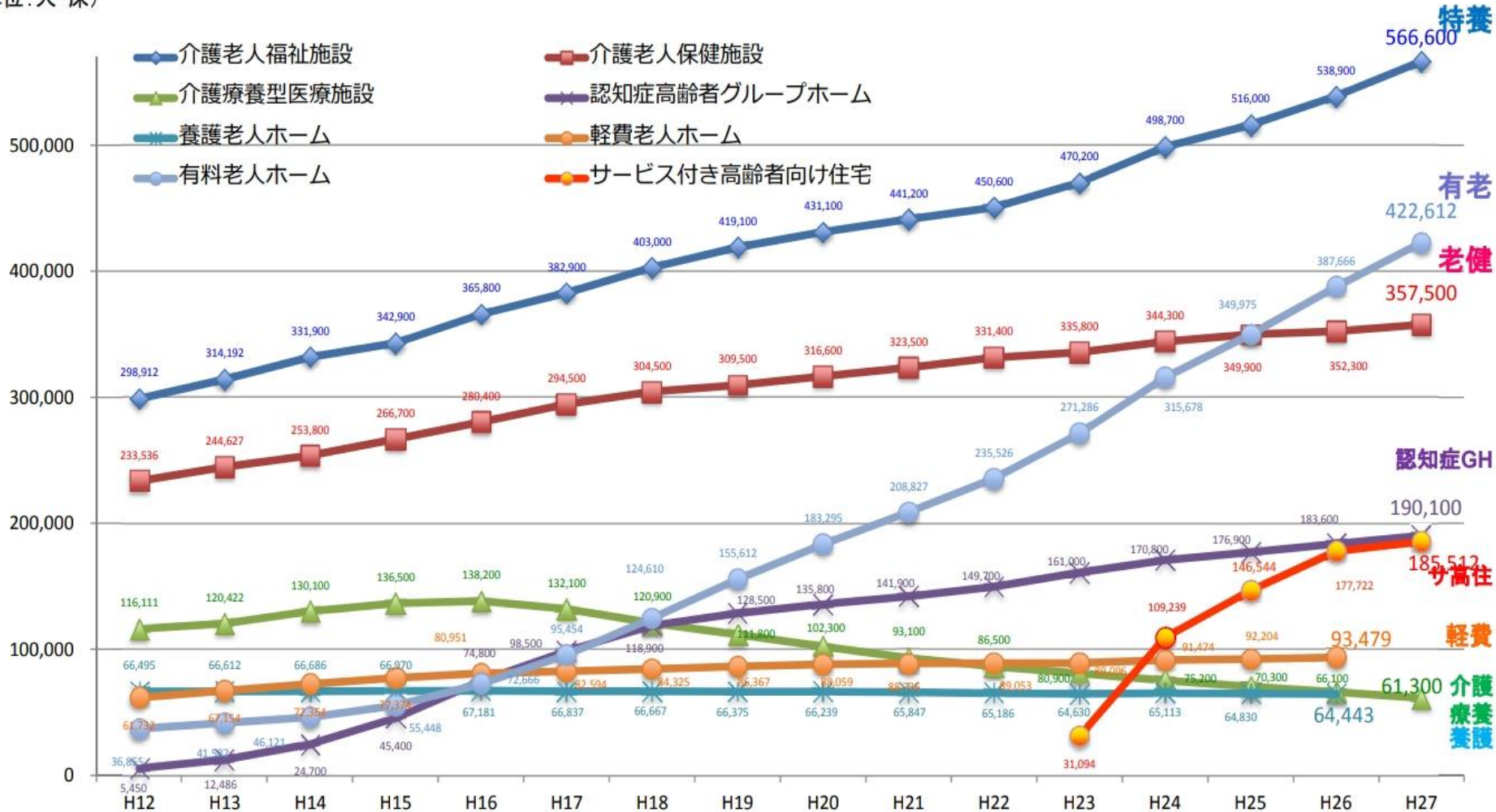
●病院・診療所	75.8%
●自宅	13.0%
●老人ホーム	6.9%
●介護老人保健施設	2.3%

\* 施設看取りが増えている

# 高齢者向け住まい・施設の定員数

○ 高齢者向けの住まいは、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅を中心に増加傾向にある。

(単位:人・床)



※1: 介護保険3施設及び認知症高齢者グループホームは、「介護サービス施設・事業所調査(10/1時点)【H12~H13】」及び「介護給付費実態調査(10月審査分)【H14~】(定員数ではなく利用者数)」による。

※2: 介護老人福祉施設は、介護福祉施設サービスと地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護を合算したものである。

※3: 認知症高齢者グループホームは、H12~H16は痴呆対応型共同生活介護、H17~は認知症対応型共同生活介護により表示。

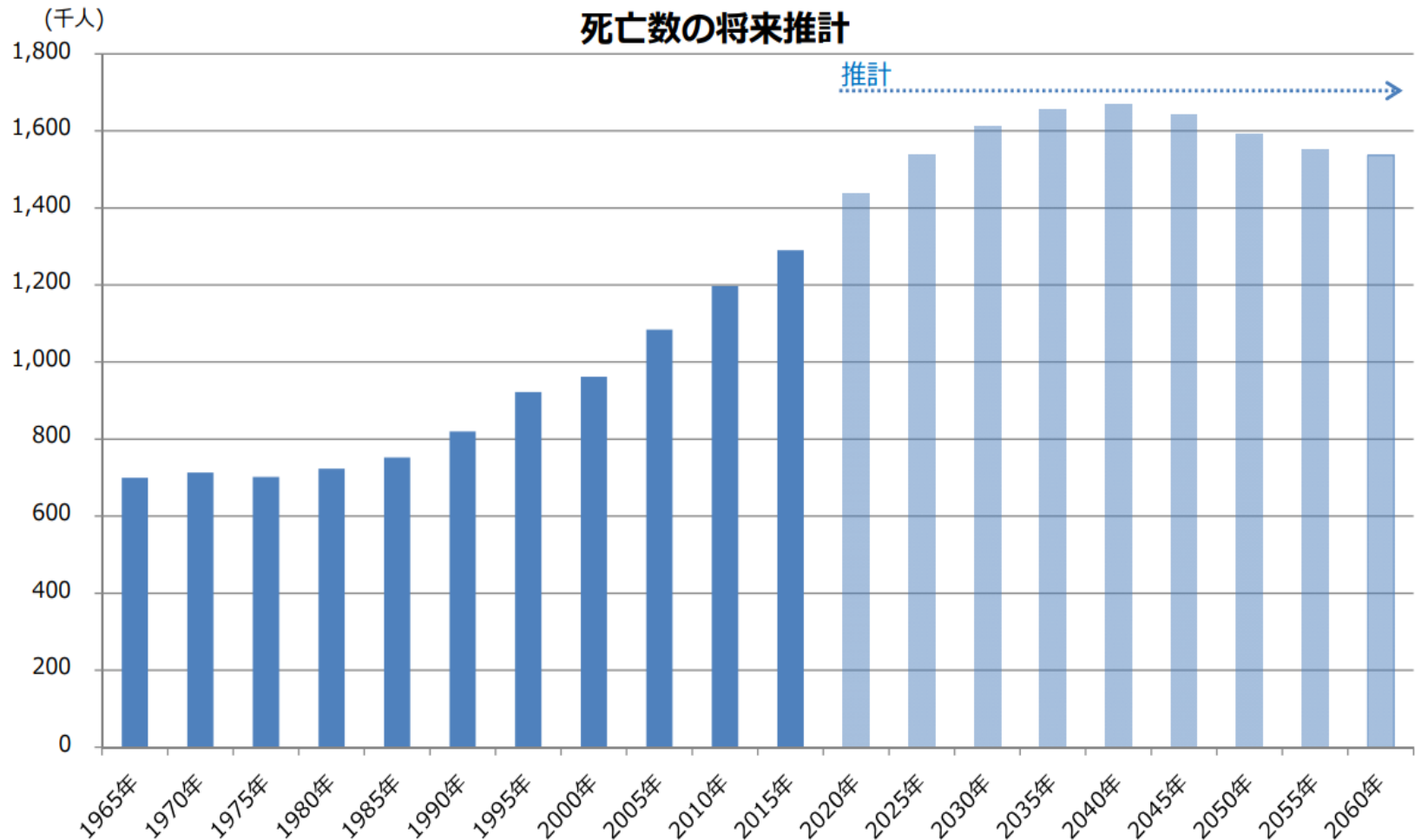
※4: 養護老人ホーム・軽費老人ホームは、「H25社会福祉施設等調査(10/1時点)」による。ただし、H21~H23は調査票の回収率から算出した推計値であり、H24・25は基本票の数値。

※5: 有料老人ホームは、厚生労働省老健局の調査結果(7/1時点)による。

※6: サービス付き高齢者向け住宅は、「サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム(9/30時点)」による。

# 看取りに関わる状況① 死亡数の将来推計

○ 今後も、年間の死亡数は増加傾向を示すことが予想され、最も年間死亡数の多い2040年と2015年では約36万人/年の差が推計されている。

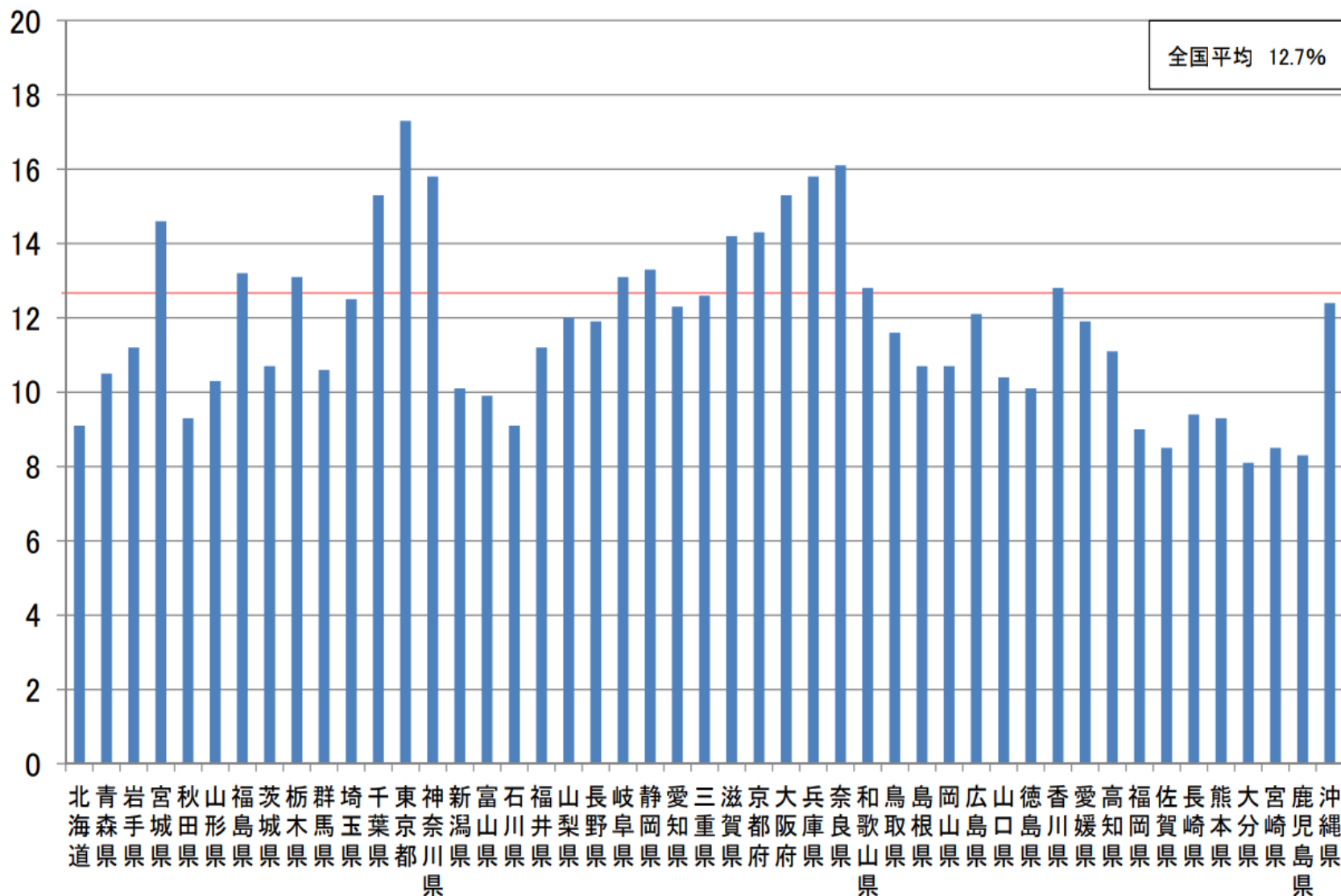


出典：2015年以前は厚生労働省「人口動態統計」による出生数及び死亡数（いずれも日本人）

2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

# 看取りに関わる状況④ 死亡に占める自宅死の割合（都道府県別）

(%)



全国平均 12.7%

出典：人口動態調査（平成27年）

# 北海道 2016年

- 在宅死 9.5% (全国40番目)
- 東京都 17.5%(全国1位)
- 人口10万人あたりの病院病床数  
1781(全国8番目)  
→東京都 942(全国 44番目)

\* 在宅死には異状死も含まれている

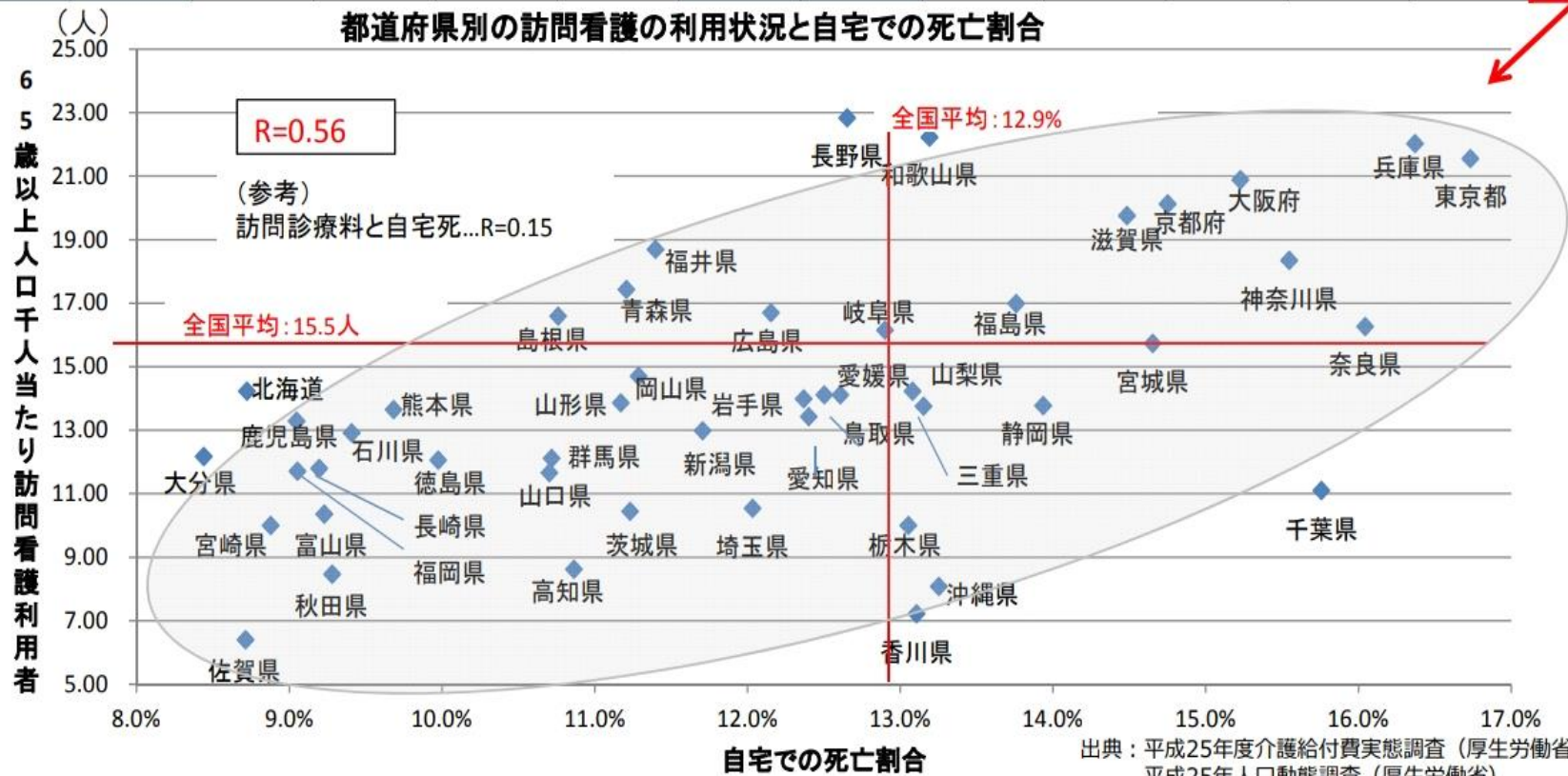


# 在宅医療の状況⑧ 在宅医療に係る地域差 ～自宅死の地域差に関する分析～

○ 65才以上人口あたり訪問看護利用状況（年間受給者数）と、自宅死の割合には、正の相関があるが、地域差が大きい。

都道府県別の自宅死の割合と、65歳以上人口千人あたりの病床数、介護施設定員数、サービス利用者数等との相関（値は相関係数）

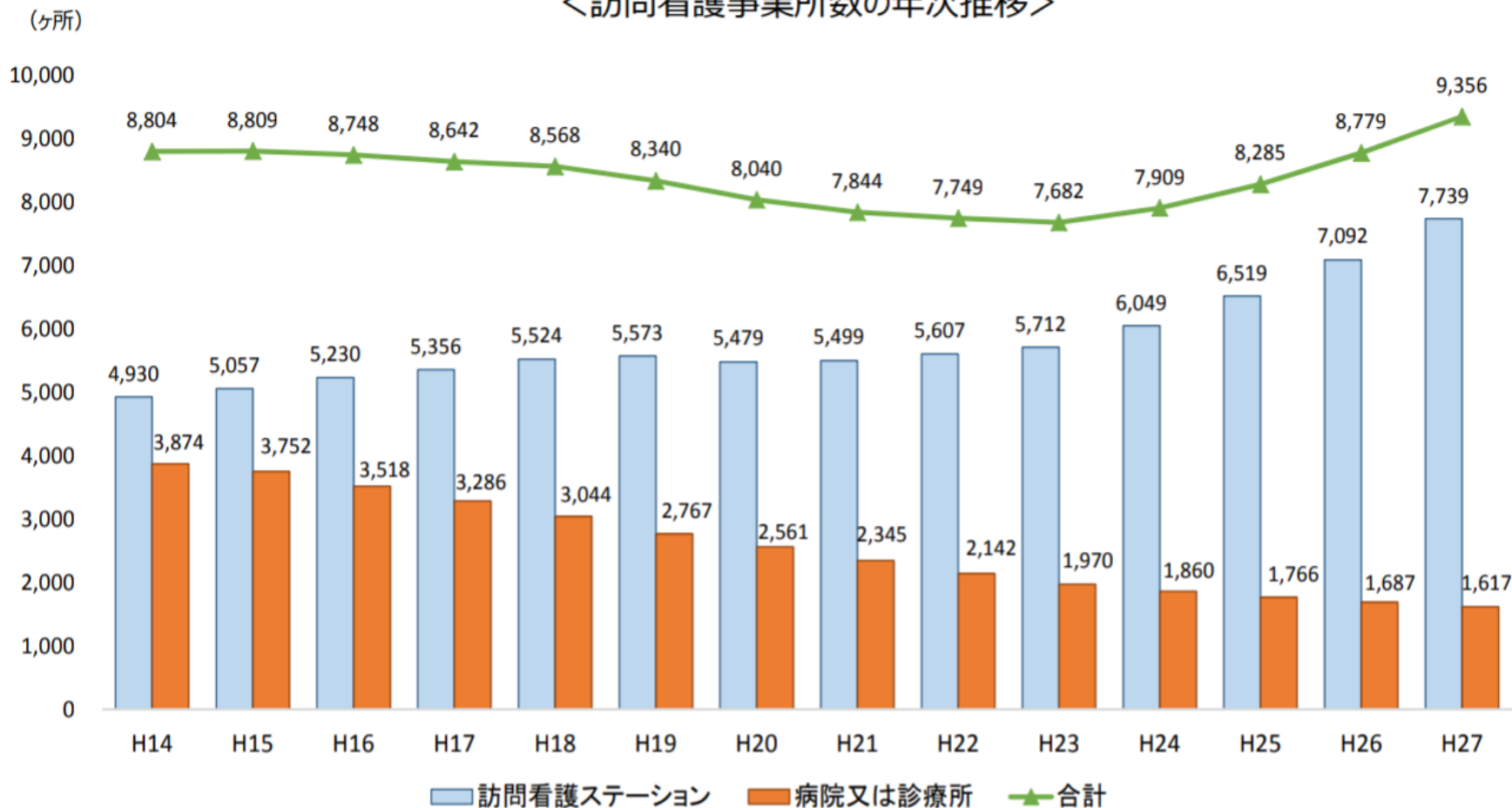
一般病床数	療養病床数	介護老人保健施設定員	介護老人福祉施設定員	有料老人ホーム定員	サービス付き高齢者向け住宅戸数	認知症対応型共同生活介護の定員	養護老人ホーム定員	軽費老人ホーム定員	在支診箇所数	在支病箇所数	訪問診療料算定件数	訪問看護ステーション数	訪問看護サービス年間実受給者数
-0.59	-0.55	-0.41	-0.35	-0.13	-0.07	-0.60	-0.59	-0.40	-0.10	-0.42	0.15	0.05	0.56



# 訪問看護ステーション数の年次推移

○ 訪問看護ステーション数は7,739か所（平成27年4月介護保険審査分）と増加傾向にあり、病院・診療所からの訪問看護を含めた全体の訪問看護提供機関は近年の増加が著しい。

## <訪問看護事業所数の年次推移>



出典：介護給付費実態調査（各年4月審査分）

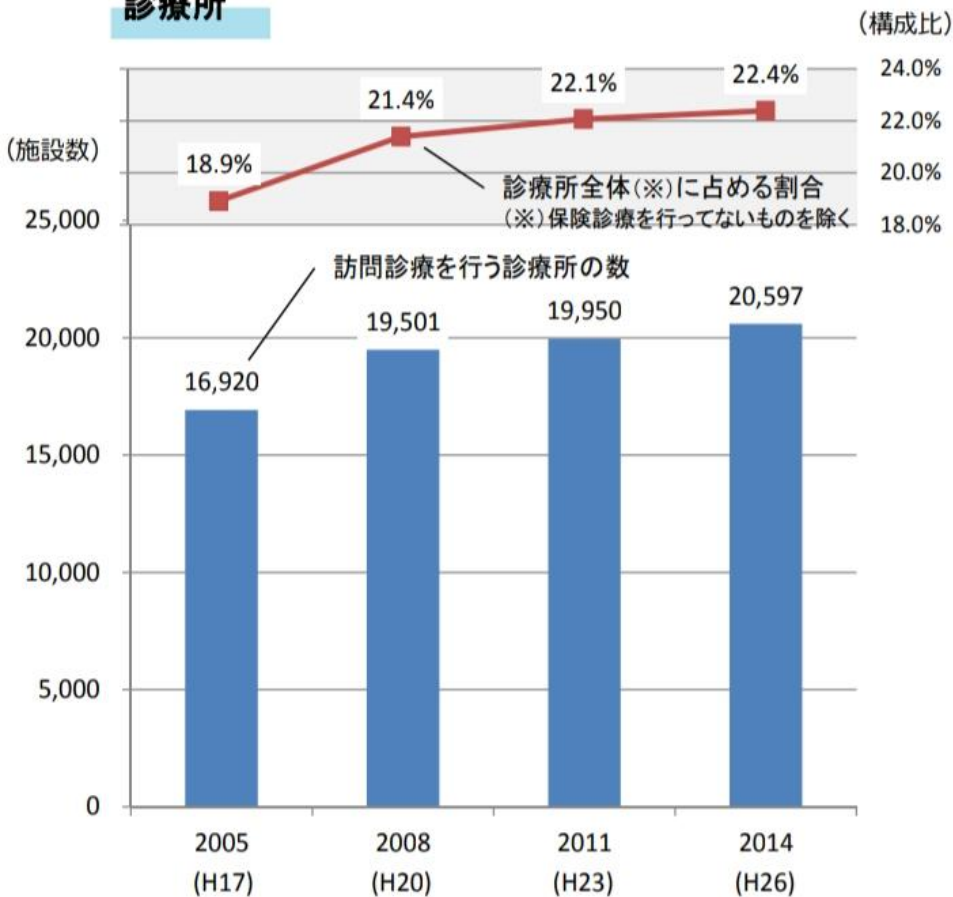
# 在宅医療の提供体制 ～②日常の療養支援～

○ 日常的な訪問診療に対応する医療機関の数は増加傾向で、診療所では全体の約20%、病院では全体の約30%に至る。

## 訪問診療を行う医療機関数の推移

訪問診療：患者宅に計画的、定期的に訪問し、診療を行うもの  
 往診：患者の要請に応じ、都度、患者宅を訪問し、診療を行うもの

### 診療所



### 病院



出典：医療施設調査（厚生労働省）

# 在宅医療の提供体制 ～③急変時の対応～

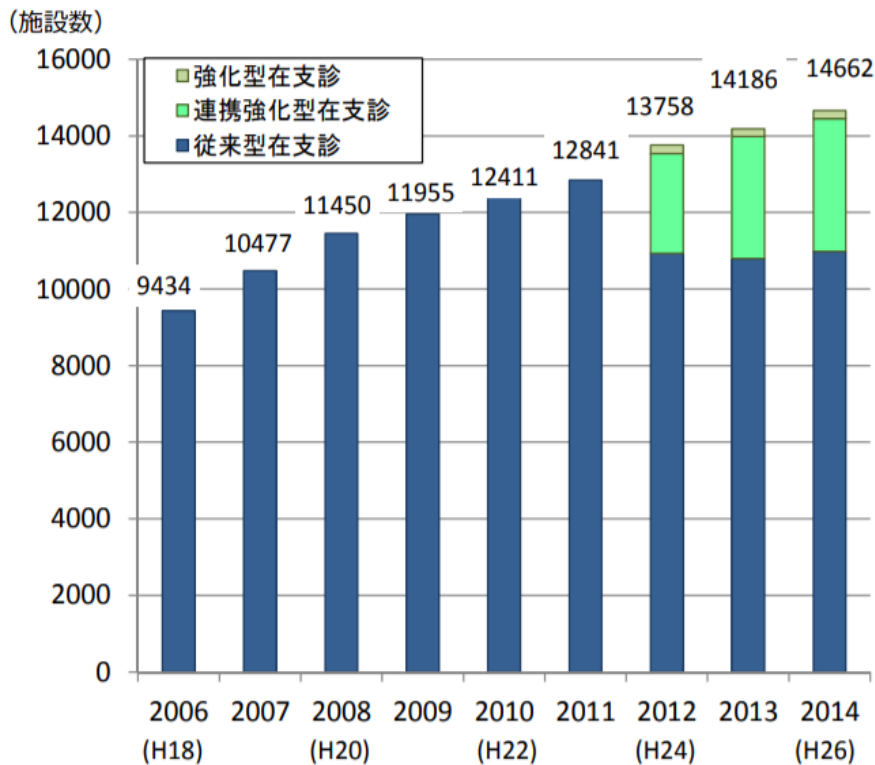
○ 24時間対応体制の在宅医療を提供する医療機関(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院)の数は増加している。

## 24時間対応体制で在宅医療を提供する医療機関数の推移

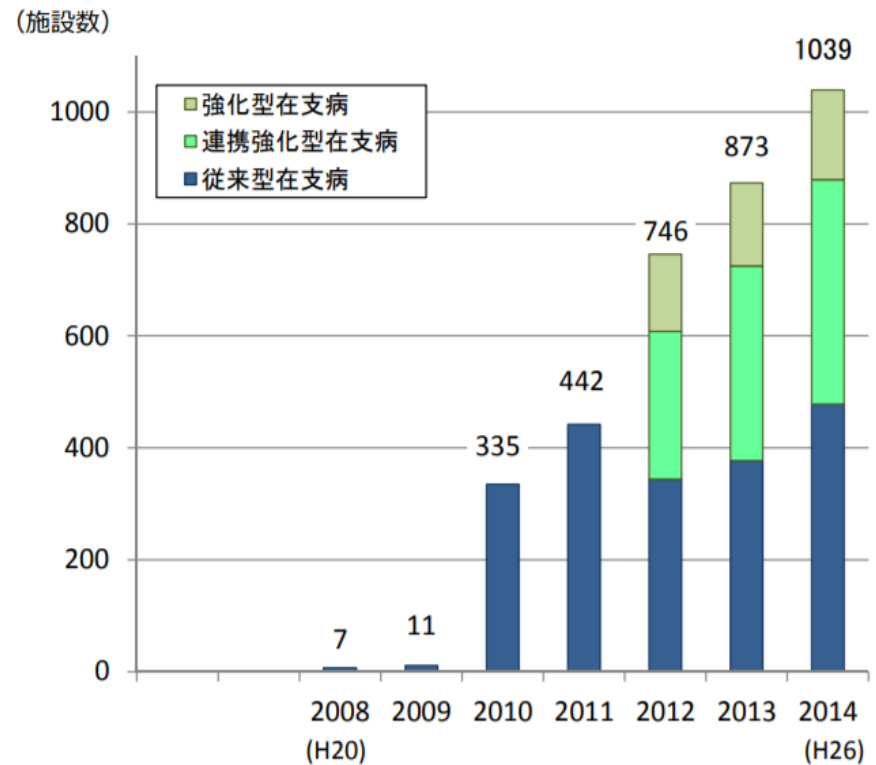
緊急時の連絡体制及び24時間往診できる体制等を確保している在宅医療を行う医療機関について、平成18年度より診療報酬上の評価を創設。  
(平成18年度に在宅療養支援診療所の評価、平成20年度に在宅療養支援病院の評価を創設)

【主要要件】 ・24時間患者からの連絡を受ける体制の確保 ・24時間の往診が可能な体制の確保 ・24時間の訪問看護が可能な体制の確保  
・緊急時に在宅療養患者が入院できる病床の確保 等

### 在宅療養支援診療所



### 在宅療養支援病院



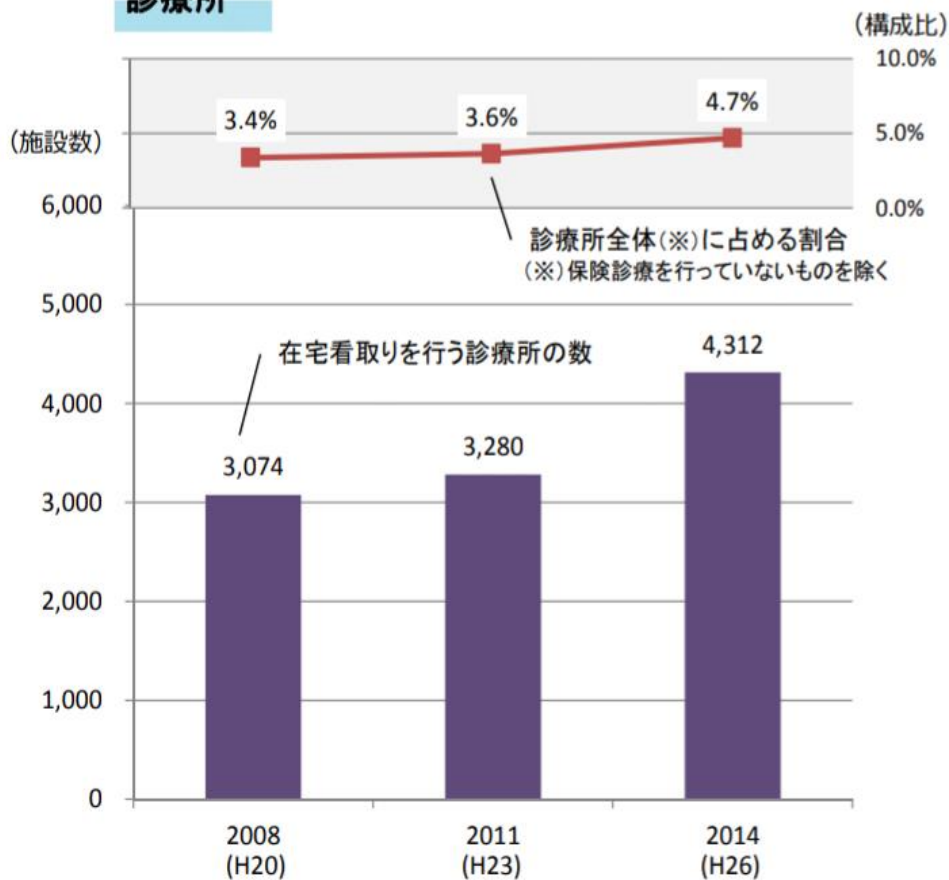
出典：厚生局届出状況に基づき作成

# 在宅医療の提供体制 ～④看取り～

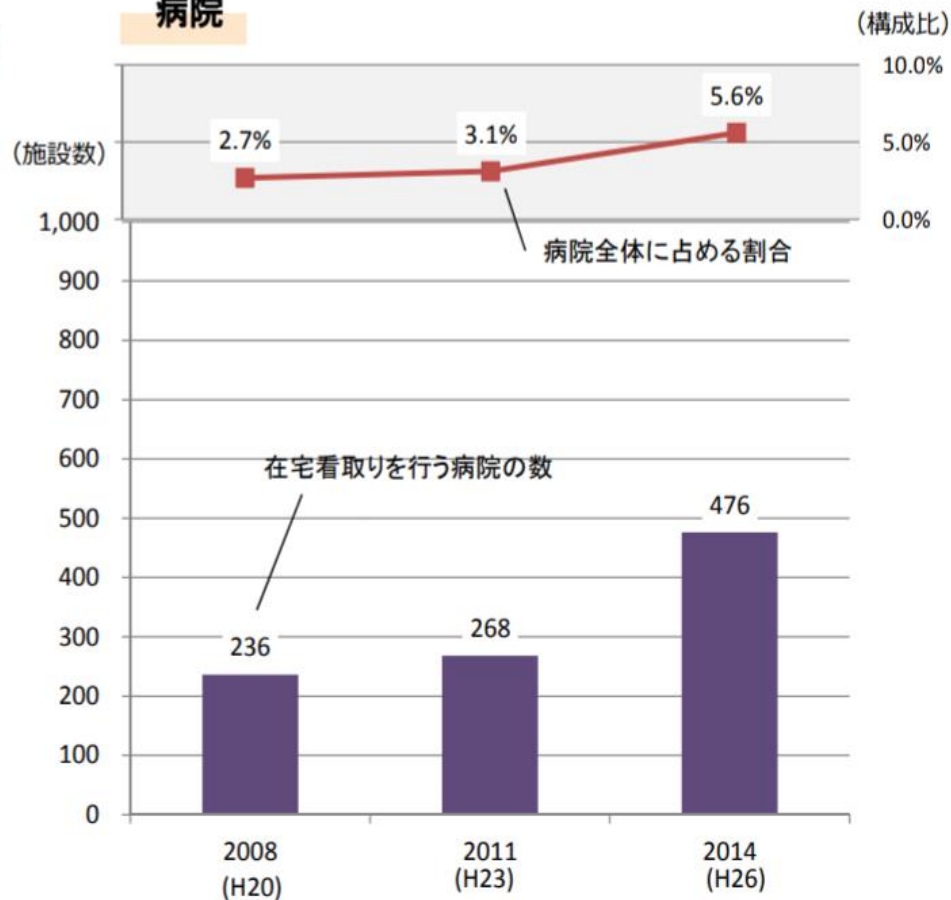
○ 在宅での看取りを行っている医療機関の数は年々増加しているが、病院、診療所ともに全体の約5%に留まっている。

## 在宅での看取りを行う医療機関数の推移

### 診療所

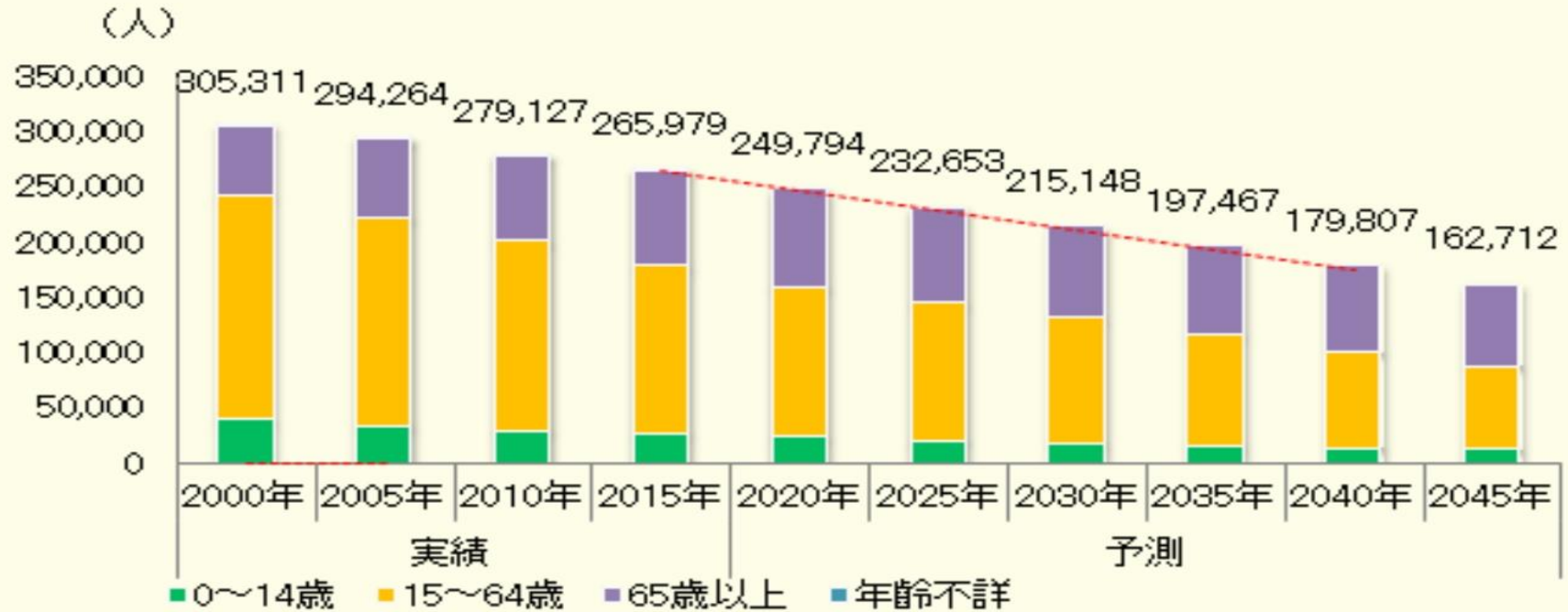


### 病院



# 函館市(ハコダテ市 北海道)の人口と世帯 《人口推移》

函館市の人口推移



【2015年】

総面積(km<sup>2</sup>) 678

平均年齢(歳) 50.1

昼夜間人口比率(%) 102.8

人口密度(人/km<sup>2</sup>) 392.4

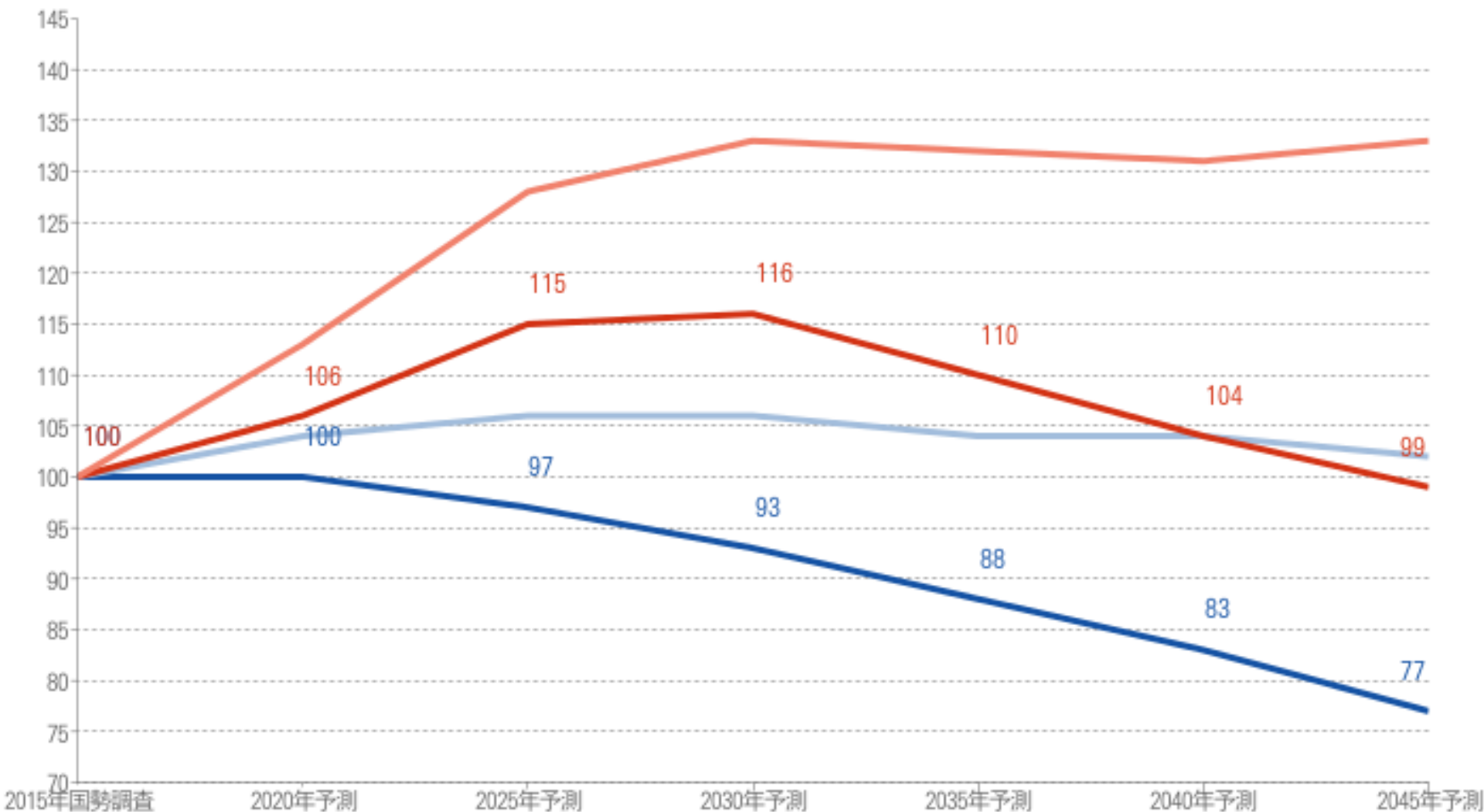
※昼夜間人口比率のみ2010年時点

※図中の点線は前回2013年公表の「将来人口推計」の値

【データ出所】 総務省 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口、総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数

(項目番号)	28-001	28-002	28-003	28-004	28-005	28-006	28-007	28-008	28-009	28-010	28-032	28-033	
(データ時点)	28.1.1	28.1.1	28.3.3	28.3.3	28.3.3	28.3.3	28.3.3	28.3.3	28.3.3	28.3.3	28.1~28.12~	28.12~	
	人口		在宅療養 支援病院				在宅療養 支援診療所				自宅死の 割合	老人ホーム死の割合	
		うち65歳以上	うち機能強化型(単独)	うち機能強化型(連携)	うち従来型		うち機能強化型(単独)	うち機能強化型(連携)	うち従来型				
国計または平均)	#####	#####	1,111	152	305	654	14,683	175	2,614	11,894	13.0	6.9	
市区町村	区分	(人)	(人)	(施設)	(施設)	(施設)	(施設)	(施設)	(施設)	(施設)	(%)	(%)	
札幌市	市	1,931,518	478,867	22	3	6	13	152	2	37	113	11.1	2.8
函館市	市	267,751	86,051	2	1	0	1	20	2	5	13	8.2	5.2
小樽市	市	122,438	45,478	1	0	0	1	18	1	9	8	13.2	4.1
旭川市	市	344,500	105,178	4	0	2	2	32	2	5	25	10.8	4.8
室蘭市	市	88,302	30,745	0	0	0	0	1	1	0	0	8.7	1.6
釧路市	市	176,039	52,833	0	0	0	0	2	0	0	2	14.6	1.3
帯広市	市	167,994	44,398	2	0	0	2	4	0	0	4	10.7	2.0
北見市	市	120,727	36,280	0	0	0	0	4	0	2	2	13.4	7.9
夕張市	市	9,024	4,409	0	0	0	0	1	0	1	0	15.7	9.4
岩見沢市	市	84,691	27,428	0	0	0	0	11	0	3	8	9.0	6.6

# 医療介護需要予測指数（2015年実績 = 100）



- 医療：函館市
- 医療：全国平均
- 介護：函館市
- 介護：全国平均